

主 文

現在の資本主義は、二重に上りし、其の第一は特別会計として積立て、若支那の争議に付し、資金の貯蓄を満ち、細塊に蓄ふ迄、貸出しを行ない、今後、争議の活動と果敢をかしめる。

理 由

我々資本主義は、最後、最盛階段たる帝國主義時代へ、進行を迫ると伴ない、口外資本の平均利回り率も、低下を示しつつある。且、口外資本の現状である。彼等資本家階級は、資本主義の最盛階段として当然来るべき口外資本に付し、利潤低下を、過者の高率階級の豪華を夢見んとして、断固、延長、資金の他下け、賦有、或いは産業の合理化の名に於て、労働条件の改善等、が潤所を、行はれぬ。然し、亦、近年の争議が、我々の積極的戦い、を促して、彼等資本家、其の挑戦に、応じ、やむなく、戦いは、今日の状態である。

一方政治的方面に於ては、古今未有の反動政府は、事毎に、社会不安を、激せしめ、無産階級運動は、暴徒と彈圧に、然れざるを、彼等資本家、其の資本家階級意識に、目覺め、反動政府による、特權を、動員して、我々の陣營、破壊に、全力を、集中して、挑戦して居る。如斯時代に、我々の戦い、如何に、困難なるかは、言ふまでもない。

此反動時代に、備へるに、階級的意識を通じて、経済的基礎を、持たざるは、存り得ない。労働者階級の、火中に、存るは、我々の人が、存るは、事毎に、敵の巨力を、我々の陣營の力、が、あまりに、少なきことである。中にも、経済的方面に於ては、一入考い、せら出るものがある。

一、昨年より、昨年、昨年より、今年と、ストライキの、日数、が、長きを示して居る。一方、組織——家族への、援助、取消等、ストライキ、勝利、を、組織を、必要として居る。今後、争議は、益々、困難であると同時に、費用も、多額を、必要とするのである。今年にして、その必要を、造らなければ、組合運動の、危機は、益々、深くなる。故て、本年も、提議する。

実行上の清

一、本大会で、決する事。